

「2009年世界禁煙デー記念シンポジウム」

共催：厚生労働省、(社)日本医師会、(社)日本歯科医師会、(社)日本薬剤師会、(社)日本看護協会、たばこ健康問題 NGO 協議会<がん研究振興財団、結核予防会、健康・体づくり事業財団、日本対がん協会、母子衛生研究会、日本公衆衛生協会、日本心臓財団>、「喫煙と健康」WHO 指定研究協力センター

東京・秋葉原

5/31
(日)

開場：12:30 開演：13:00

参加無料

会場：富士ソフト 5F アキバホール

テーマ：「煙のない健康的な社会づくり」

プログラム

開会挨拶 厚生労働大臣 舛添 要一（予定） 13:00～

報告「政府における主なたばこ対策」厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室たばこ対策専門官 森 淳一郎



第一部 トーク 13:25～

「スポーツと喫煙について」～サッカーを通じて感じたこと～

中西 哲生（スポーツジャーナリスト） 聞き手：宮本 裕子（フリーアナウンサー）

休憩 14:15～14:30

第二部 講演セッション 14:30～

「グローバルな視点で見る日本のたばこ対策」尾身 茂（名誉 WHO 西太平洋地域事務局事務局長）

「たばこ社会からの脱出」望月 友美子（国立がんセンター研究所・「喫煙と健康」WHO 指定研究協力センター）

「地方の時代のたばこ対策」松沢 成文（神奈川県知事）

閉会挨拶 たばこ健康問題 NGO 協議会会長 島尾忠男